

ピックルボール日本連盟とスポンサー契約を締結

この度、当社はピックルボール日本連盟（以下、PJF）の年間スポンサーとなりました。PJFと共に、日本国内でのピックルボールの普及を目指してまいります。



〈左：PJF 理事長・林 裕子氏、右：東亜道路工業株式会社代表取締役社長・森下 協一〉



ピックルボール日本連盟 HP：<https://pickleball-japan.org/>

東亜道路工業株式会社 HP：<https://www.toadoro.co.jp/>

○ピックルボールとは

アメリカ発のテニスと卓球とバドミントンを掛け合わせたラケットスポーツです。テニスコート約 1/3 の大きさでプレイができ、ラリーのしやすさからアメリカでは幅広い世代で人気を集めており競技人口が急増しています。

日本でも各都道府県で、団体やサークルができており、今後の成長が期待されます。

○活動と意義

当社は、ピックルボールコートの建設やメンテナンスを通じて、PJF の活動を支援します。具体的には以下のような協力を行います。ピックルボールの普及によって、地域住民の健康促進と交流の場を提供することを目指しています。

- ・コート建設：全国各地でのピックルボールコートの新設及び改修工事
- ・イベント支援：ピックルボール大会やイベントの開催支援、運営サポート

○東亜道路工業とスポーツ

当社は、日本国内で初めて全天候型テニスコートを施工して以来、60年以上に渡りテニスコート整備のパイオニアとして貢献してまいりました。現在では、東京オリンピック2020の会場となった国立競技場陸上トラックの舗装や、サッカー日本代表の練習拠点である夢フィールドのサッカー場の建設工事など、陸上競技場、サッカー場、野球場、テニスコート、バスケットコート他あらゆるスポーツ施設の整備を行っています。

○SDGsの目標との関連

当社は、企業理念である「自らの意志と成長をもって、人々の生活を足元から支える」のもと、持続可能な社会の発展に貢献するために、事業活動を通じて社会的課題の解決と企業価値の向上を推進すべく、CSR経営を推進しています。その中で、社会貢献活動の一環としてスポーツとの係りがSDGs目標の達成に繋がると考えています。

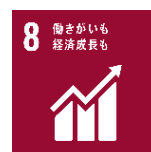
・スポーツを楽しむすべての人を足元から支えたい

ピククルボールは、老若男女問わず誰もが楽しめるスポーツであり、定期的な運動を通じて身体的および精神的な健康を促進します。当社はスポーツ施設づくりの会社として、これからもより多くの人々が健康的なライフスタイルを送るために楽しくスポーツができる環境を提供していきます。



・住み続けたいと思う街づくり

ピククルボールコートの建設や改修は、地域のインフラを改善し、住民が安全で健康的な生活を送るための空間を提供します。また、スポーツイベントの開催は地域社会の結束を強化し、住みやすい街づくりに貢献します。



・人×人、地域×地域～スポーツで繋がるコミュニティの創造

当社とPJFの協力は、スポーツを通じたパートナーシップの一例です。この協力関係は、地域社会の発展と持続可能な開発目標の達成に向けた共同の取り組みを象徴しています。ピククルボールを通じて、異なるコミュニティや組織が連携し、共通の目標に向かって協力する機会を提供します。

